

会長挨拶

高速道路を通行するために欠かせないのがETCカードですが、このカードの利用をめぐって最近、気になる「判決」が下されたことをご存じでしょうか。

ETCカードの貸し借りをおこなった同居の兄弟とそのカードで車を運転した知人の計3人が、いずれも「電子計算機使用詐欺罪」(刑法246条の2)で起訴され、有罪になりました。

要するに兄が弟名義のETCカードを借り、知人の運転する車(弟は乗車していない状態)でそのカードを使って有料道路を通行し、ETC割引によって通行料の差額を不当に得たことが「罪」にあたったということです。

多くの道路会社はETCを利用する際、カード会員本人が乗車することを規則で定めているとのこと。

私自身、長年ETCカードを使っていながら、これまで気にしたことはなかったのですが、あらためて各社のサイトを確認したところ、「カード会員本人が乗車するように」という文言が記載されていました。

ETCカードは利用規約によって「個人間での貸し借りを禁止」しているので、家族間であっても貸し借りはできません。

利用規約に違反したことがバレた場合は、ETCカードはもちろん、最悪、紐づけしているクレジットカード本体の強制解約になることもあります。つまり、クレジットカードに紐づけられたETCカードを利用する場合、クレジットカード会員本人が乗車していない車でETCレーンを通過してしまうと、規則上は「ETCシステムの電子計算機に虚偽の情報又は不正の指令を与えた」ことになるわけです。

「ETCを利用して有料道路を通行する車にカードの名義人が乗車していなければならないというルールを、はたしてどれだけの人が知っているでしょうか。私も含め、恐らくこれまで多くの人々が認識していなかったのではないかと思います。

ニコニコBOX 創立第2652回例会 9件 計 21,000円 累計 441,000円

松村さんにお世話になりました。(高橋君)

米田先生に卓話をお願いしました。(西山君)

米田先生、卓話ありがとうございました。(浜君)

日曜日、野球に参加されました皆様、お疲れ様でした。(藤井君)

年次計画書、大変遅くなりました。(山村君)

皆様のお耳汚しを致しました。(米田君)

お久しぶり。(尾崎勝君)

早退お詫び。(国領君、石濱君)

誕生祝い



卓話「歯のはなし」

今日は私を見て歯科業界を目指し、素晴らしいロータリアンになる人が今後おられたら良いなと思い、最近の歯科業界の話をいたします。

はじめに、どうして私が歯医者を目指すようになったのか、というお話をさせていただきます。

私は歯医者になる気は全然ありませんでした。

2歳上の姉と弟、特に姉が昔から歯医者になりたいと言っていましたので、当然姉が歯医者になると思い、私は好きな車を弄っていました。

ところが、姉がアメリカの大学に行って歯医者にならないと言い出し、当時19歳の新大阪の駅で父親から電話、喫茶店で「お前、ちょっと歯医者の大学を受けてみては…」と。

そもそも歯医者嫌いだった理由は数値化されないからです。

機械って数値で性能がはっきりします。努力しても数値が出ていなければ失敗、良ければ成功という優劣がはっきりしているのが好きでした。

父親は真面目な人で尊敬していましたが一生懸命やっても医療は失敗など上手くいかない事があります。

落ち込む姿を見て歯科医は報われないと感じ、数値化された車の方面に進もうと思っていました。

歯科大学に行くのは良いが卒業後に車の世界に行かせてくれるのであれば、という事で歯科大学に行きました。

歯医者昭和40～50年ぐらいがとても良い時代でした。

もともと歯科大学は昭和の初めに6校しかなく、高度経済成長期に日本人の食が豊かになると虫歯人口が増加しました。

経済が豊かになったのに歯科教育が行われていないために歯の悪い人が増え、厚生省が動いたことで歯科大学が一気に29校まで増えました。

それまでの間は歯医者ものすごく少ない時代であり、そのため歯医者儲かりバブルぐらいまでは歯医者にとって良い時代でした。

ところが現在では歯医者が増えて全国で9万人強程の歯医者がいる状態です。歯医者氷河期です。

大学で全く歯医者魅力を感じないまま大学5年生になり、病院に上がる時がきて病院に行きはじめました。

そのときにひとりの高齢の女性を担当し治療をしていましたが、やっぱり学生なので上手くいかない。

結局、女性は何本か抜歯しなくてはならなくなり、申し訳ないという気持ちでした。父親のように、医療は一生懸命やっても報われないと感じました。

その帰り際に女性から、「今までこんな一生懸命やってもらった事がない。今までの先生からは、すぐ抜け、と言われたが先生に抜かれるのであれば本望だ!」と泣いてくれたのです。

この仕事って良いな、また思いもよらぬ反応だと思い、やりだしたら面白くなってしまいました。

もう少し上手く治せるのではないかと考えているうちに気がついたら30年以上経ってしまいました。

歯科は現在供給過多で、厚生労働省が歯科を減らして行く方向に向かっています。

今はおそらく、新卒で90%弱、全体で既卒の浪人の人も含めて60%強なんです。

だからタイミングって大事だなと思い、いまだに歯医者をやっております。

あっ…これから皆さんのタメになる歯のものすごい話をとりましたが時間がないですね。

ありがとうございました。



奉仕プロジェクト委員会
副委員長 米田敬君